

■本資料のご利用にあたって(詳細は「利用条件」をご覧ください)

本資料には、著作権の制限に応じて次のようなマークを付しています。
本資料をご利用する際には、その定めるところに従ってください。

***** : 著作権が第三者に帰属する著作物であり、利用にあたっては、この第三者より直接承諾を得る必要があります。

CC : 著作権が第三者に帰属する第三者の著作物であるが、クリエイティブ・コモンズのライセンスのもとで利用できます。

 : パブリックドメインであり、著作権の制限なく利用できます。

なし : 上記のマークが付されていない場合は、著作権が東京大学及び東京大学の教員等に帰属します。
無償で、非営利的かつ教育的な目的に限って、次の形で利用することを許諾します。

- I 複製及び複製物の頒布、譲渡、貸与
- II 上映
- III インターネット配信等の公衆送信
- IV 翻訳、編集、その他の変更
- V 本資料をもとに作成された二次的著作物についての I からIV

ご利用にあたっては、次のどちらかのクレジットを明記してください。

東京大学 UTokyo OCW 学術俯瞰講義
Copyright 2014, 北村友人

The University of Tokyo / UTokyo OCW The Global Focus on Knowledge Lecture Series
Copyright 2014, Yuto Kitamura

学術俯瞰講義

「サステナビリティー未来をデザインするコンセプト」

(2014年12月18日)

教育学の視点から ーESDの役割ー

教育学部・准教授 北村 友人

本講義の構成

はじめにーSustainabilityと教育ー

1. 「持続可能な開発のための教育(ESD)」とは？
2. Sustainableな「学び」ー「公正さ」の観点から考えるー
3. Sustainableな世界＝「平和」ーユネスコのアプローチー

結び

はじめに

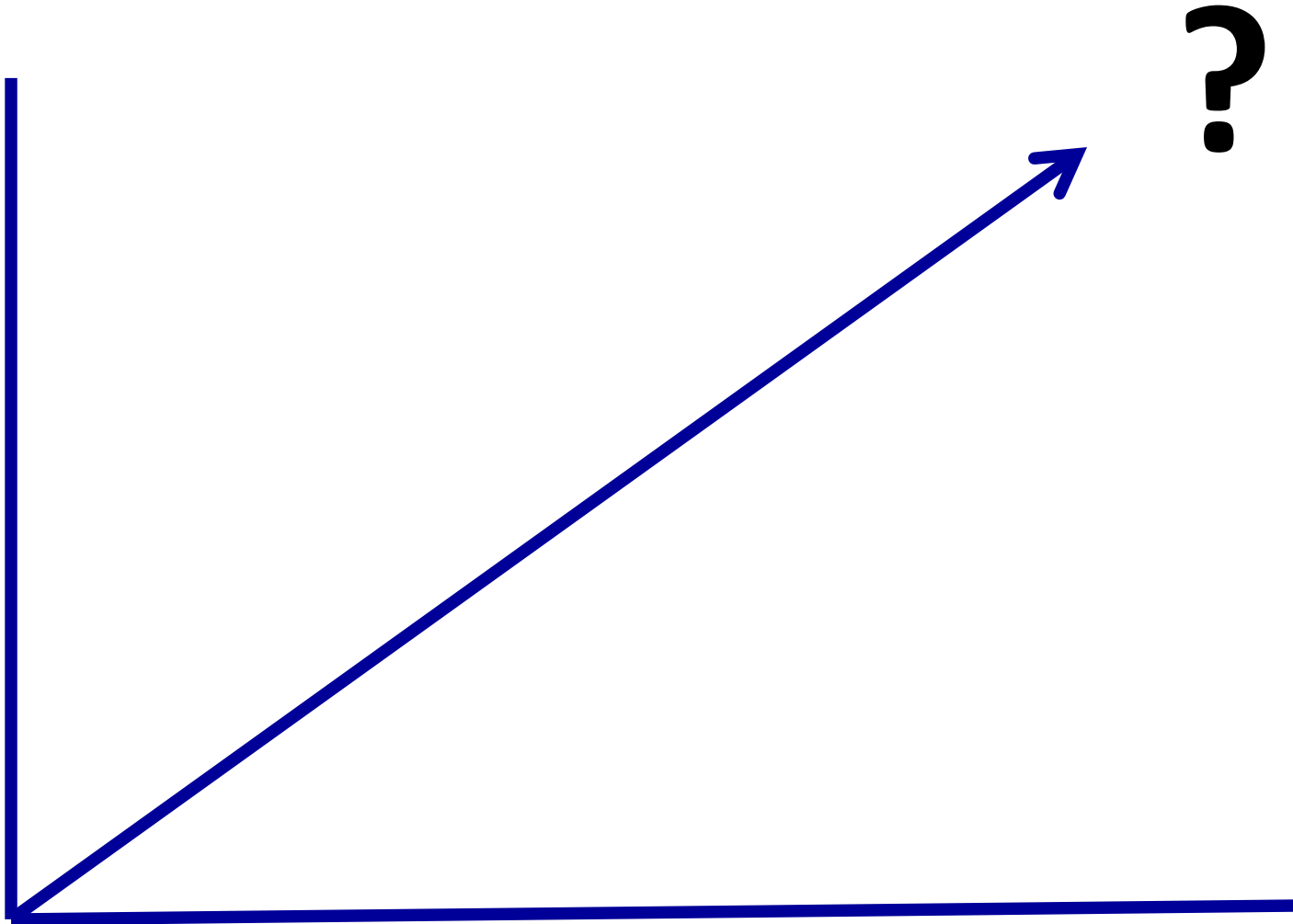
—Sustainabilityと教育—

Sustainableな社会のあり方

- 限られた資源をいかに配分するか
- 配分のあり方を考えることを促す「教育」の役割
- 「公正さ(equity)」と「公平さ(equality)」の違い

1. 「持続可能な開発のための教育（ESD）」とは？

開発（Development）？



「成長」と「開発」 “Growth” and “Development”

- Growth:
物質の蓄積や合体によりサイズが増大すること
⇒ 量的成長 (quantitative growth)
- Development:
可能性を拡大したり、実現すること
より良い、より大きい、より充足した状態にすること
⇒ 質的向上 (qualitative improvement)

持続可能な開発 (Sustainable Development)

将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代
の欲求も満足させるような開発

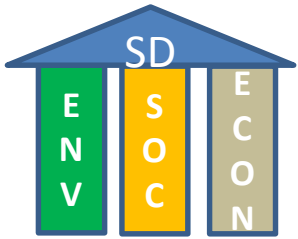
『*Our Common Future*』

「環境と開発に関する世界委員会」

(委員長:ブルントラント・ノルウェー首相(当時), 1987年)

「持続可能な開発目標」で目指す「持続可能性」とは？

* スライド全体：
蟹江憲史氏提供



人間活動が地球の
行末を決める時代

将来の世代の
欲求を満たし
つつ、現在の
世代の欲求も
満足させるよ
うな開発

人類世 Anthropocene

人類世における「持続
可能な開発」の再定義



Development that meets
the needs of the present
while safeguarding Earth's
life-support system, on
which the welfare of
current and future
generations depends

現在及び将来の世代の人
類の繁栄が依存している
地球の生命維持システム
を保護しつつ、現在の世
代の欲求を満足させるよ
うな開発

Cover Image: *
Reprinted by
permission from
Macmillan
Publishers Ltd:
Nature 495(7441),
copyright 2013.
<http://www.nature.com/nature/journal/v495/n7441/index.html>



David Griggs, Mark Stafford-Smith, Owen Gaffney, Johan Rockstrom, Marcus C Ohman, Priya Shyamsundar, Will Steffen, Gisbert Glaser, Norichika Kanie and Ian Noble, 'Sustainable Development Goals for People and Planet.' Nature (Vol 495, 21 March 2013).

開発と環境の課題解決への2つの悪影響

「開発」の環境変化への悪影響 (i.e. 工業化による温暖化、森林伐採への悪影響)
環境変化の「開発」への悪影響 (i.e. 温暖化による食物生産への悪影響)

Ecology と Economy

パラダイムを変える
起爆剤がSDGs

完新世

人類世へ



1900

1950

2013

TIME

現時点

現代人の思考・
制度のベース

この思考・制度
は男性中心の
考え方に立って
きた。

*

スライド全体: 蟹江憲史氏提供 (一部加筆)

'Sustainable Development Goals for People and Planet.' *Nature* (Vol 495, 21 March 2013). By David Griggs, Mark Stafford-Smith, Owen Gaffney, Johan Rockstrom, Marcus C Ohman, Priya Shyamsundar, Will Steffen, Gisbert Glaser, Norichika Kanie and Ian Noble

持続可能な開発

「人類は、持続可能な開発に対する関心の中心にある。人類は、自然と調和して 健康で生産的な生活を送る権利がある。」

（環境と開発に関するリオ宣言）

1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された「環境と開発に関する国際連合会議（UNCED）」において合意された27原則からなる宣言の第1原則。UNCEDではこれを実践するための行動計画「アジェンダ21」の他、「森林原則声明」、2つの国際条約「気候変動枠組条約」「生物多様性条約」という、合計で5つの文書が国際的に合意された。

- 世代間の公正： とくに環境問題
- 世代内の公正： とくに開発問題（貧困、人口、食糧、環境等）

ミレニアム開発目標(MDGs) (2000年9月)

目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅

目標2: 初等教育の完全普及の達成

目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上

目標4: 乳幼児死亡率の削減

目標5: 妊産婦の健康の改善

目標6: HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

目標7: 環境の持続可能性確保

目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

世界教育フォーラム (World Education Forum)

[セネガル共和国ダカール市、2000年]

1. 幼児教育・就学前教育の拡充
2. 2015年までに、すべての子どもたちに無償・義務制の良質な初等教育へのアクセスを保障
3. 適切な学習・生活技能 (life-skill) プログラムへの公正なアクセスを保障
4. 2015年までに、特に女子を中心に、成人識字率の現在の水準から50%改善
5. 2005年までに、初等・中等教育での男女間格差を解消し、2015年までに、教育におけるジェンダーの平等を達成
6. 教育の質 (quality of education) を改善

万人のための教育 (Education for All: EFA)

「基礎的な学習のニーズ (basic learning needs)」を充たすための教育 (= 基礎教育) の機会が、すべての子ども、青年、成人に提供されなければならない。

➡ 教育を受けることはすべての人にとって基本的な権利

クイズ: 識字能力を身につけるうえで、基礎的な学習のニーズを充たすために必要とされる教育機会 = 何年間の学校教育?

ミレニアム開発目標(MDGs)と 持続可能な開発目標(SDGs)



MDGsとポスト2015開発アジェンダの詳細については、外務省ホームページを参照のこと
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/doukou/mdgs/p_mdgs/pdfs/gaiyo_j.pdf]

持続可能な開発のための教育

Education for Sustainable Development (ESD)

- 2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグ・サミット)
- 2005-2014年 国連持続可能な開発のための教育の10年
- 2014年11月 ESD世界会議(於:愛知、岡山)
- 2015年5月 世界教育フォーラム(於:韓国・仁川)

ESDとはー「自立的対応力」の育成ー

1.ESDは単なる知識習得ではなく、学習者みずからが価値観を見つめ直し、よりよい社会づくりに参画するための力を育むことを目指した教育です。

3.学校、企業、行政、NPO、社会教育機関、農林漁業者など、さまざまな立場の人たち、大人も子どもも、それぞれがESDの担い手であり、学び手です。



2.さまざまな持続可能な社会への課題と向き合い、問題解決型の「教育」や「地域の活動」から生まれる、参加体験型の「学び」を重視しています。

4.持続可能な社会への課題(環境・貧困・人権・平和・開発...)はとても複雑。だから、ESDは環境、社会、経済のことを総合的に扱うことが重要と考えます。

＊

認定NPO法人
「持続可能な開発のための教育の10年」推進
会議(ESD-J)
ウェブサイトより
<http://www.esd-j.org/>
(ref. 2015/5/25)

ESDの領域と戦略的テーマ

【社会・文化】

人権 男女同権 健康
平和と人間の安全保障
文化の多様性と異文化理解
エイズ問題 ガバナンス

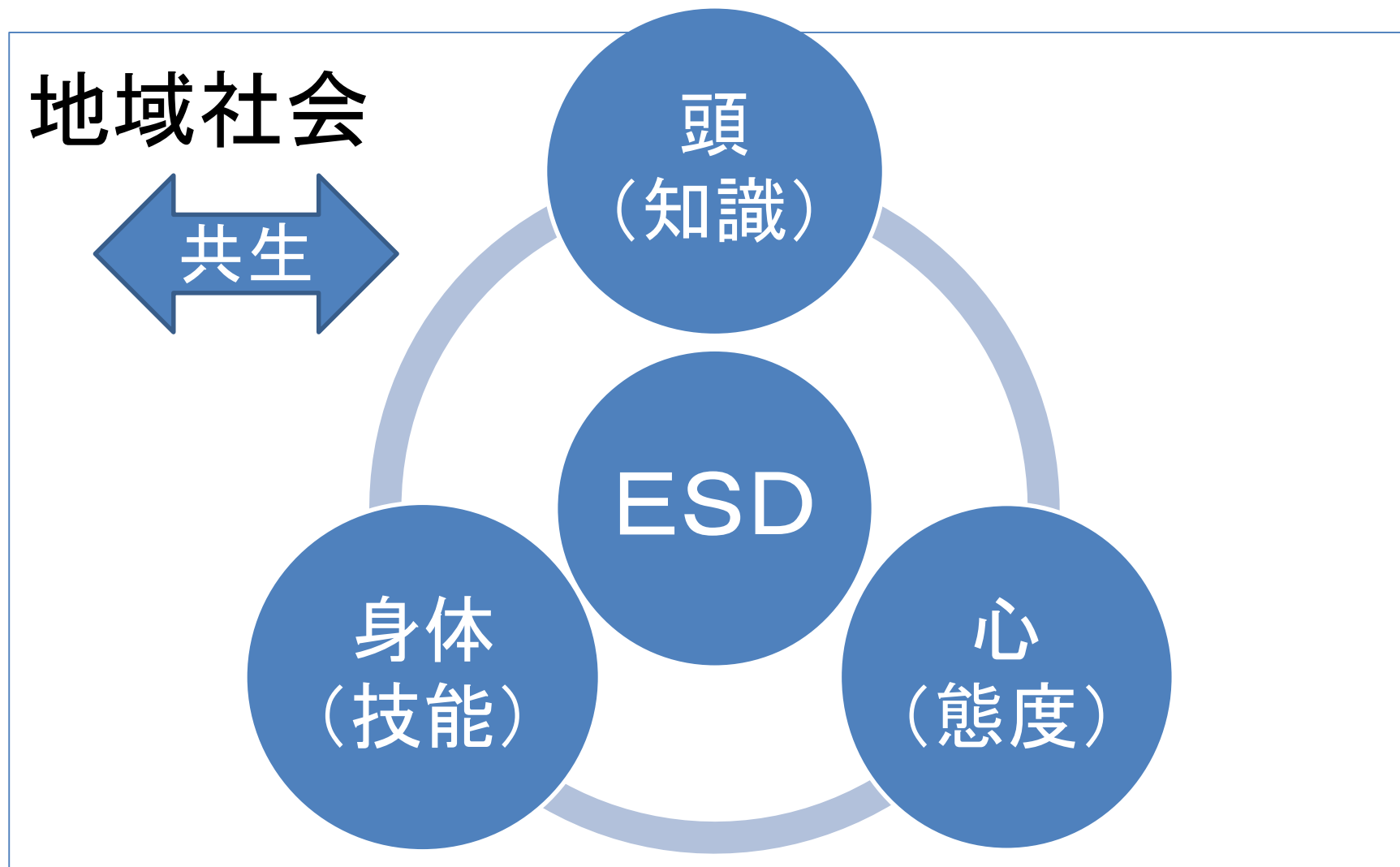
【環境】

自然資源（水、エネルギー、
農業、生物多様性）
気候変動 農村開発
持続的都市化
災害の防止と軽減

【経済】

貧困削減
企業の責任と説明能力
市場経済

ESD: 個人のあり方と地域社会との関係



ESDのあり方

- 「持続可能な開発」という概念は共有するが、そこに普遍的な教育モデルはない
- 先進国と途上国のどちらにとっても等しく重要な課題
- 社会の歴史・伝統に根ざした固有の「文化」を重視
- 多様性を認める
- 差異を受け入れる寛容性
- 対話を重視する教育
- 人的・組織的・制度的な能力開発(capacity development)が重要
- ローカル(あるいは土着的)な知の活用
- 多様な文化的アイデンティティを反映した教育のあり方(言語、宗教、民族など)

ESDを考えるうえでのキーワード例

- まちづくり、地域活性、ネットワーク
- 公共性、市民性
- 循環型社会
- 生物多様性、自然共生
- 多文化共生
- 問題解決型、参加体験型
- 国際協力 etc.

EFAとESD

- EFA:
- 「開発」モデル
 - 「基礎教育 (basic education)」の概念を拡大
 - 機能主義的アプローチ
 - 体系的な知 (system of knowledge) の伝達を重視
 - トップ・ダウン型 (政府主導・政策主導)

- ESD:
- 「開発」モデルへの疑問
 - 生成的・応答的 (generative & responsive) アプローチ
 - 伝統的な教科等に対するESDな視点の導入
 - ボトム・アップ型 (コミュニティや市民社会から)
 - 自立的・内発的な発展の可能性を追求

EFAで重視される政策課題

- すべての学習者に基礎教育の機会を提供すること
- とくに質の高い基礎教育へのアクセスに困難を抱える人々（女子・女性、少数民族、障がい者、へき地に暮らす人々、等）への機会提供を重視

ESDに特徴的な政策課題

- 一般的な「教育」分野を超えた視点
- 計画された学習(学校教育等)以外の場における学びにESDの視点を導入する
- 社会のなかで有利な立場にある人々も包含することでESDへの支援を活発化させる
- 学習過程において価値や態度といったものをどのように学びと結びつけるかという課題

ESDとEFAで相互補完的な領域

- 教育の質向上への取り組み
- 教育を人権としてみる視点(とくにジェンダー格差の解消や不利な状況に置かれた人々の権利の尊重)
- 生活の質向上、貧困削減、健康の増進などへの関心
- 初等教育の重要性
- さまざまなステークホルダーの協力関係の構築(市民、学校、コミュニティ、市民社会組織(NGO等)、政府機関、援助機関、等)
- ノンフォーマルな場における学びの重要性

EFA-ESDの連結点

- 教育の質
- ライフ・スキル (Life Skills)
- 人権重視の考え方

ESDとEFAの間にsynergyが生まれることで、「持続可能な開発 (Sustainable Development)」や「持続可能な教育 (Sustainable Education)」が可能になる。



何を目指しているのか：

- 市民性の涵養
- 民主的な社会の実現

途上国におけるESD

- ライフ・スキルの獲得・向上
- 環境教育の充実
- 平和・人権教育

持続可能な社会を実現するうえで欠かせない生涯学習の一環としてEFAとESDを位置づける必要がある。

ポストEFA と ポストESDは、どこへ向かうのか？

ESDと学習指導要領

- 2008年3月、幼稚園教育要領及び小学校・中学校、2009年3月には高校の学習指導要領が公示された。この新しい学習指導要領には、持続可能な社会の構築の観点が盛り込まれている。
- http://www.unesco-school.jp/index.php?page_id=637

ユネスコ国内委員会による提言

- 学校教育におけるESDの推進
- ユネスコ・スクール活動への支援
- 生涯にわたるESDの教育機会の提供
- 国際的な協働の場の形成

ユネスコ・スクールの4つの基本分野

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 人権、民主主義の理解と促進
- 異文化理解
- 環境教育

⇒ これらを領域横断的に捉え、課題発見・解決のために考えることを促すような学びがESDである。

2. Sustainableな「学び」 —「公正さ」の観点から考える—

「教授・学習 (Teaching and Learning)」の転換

From	To
Traditional pedagogical practices	Progressive pedagogical practices
Teacher-centered approaches	Student-centered approaches
Examination oriented	Whole person development
Textbook dominated classroom	Multi-media learning environment
Subject knowledge	Skills for lifelong learning
Reproduction	Creation
Semi professionalism	Full professionalism
Modern pedagogy	Pedagogy for the future

「学び(Learning)」の5つの柱

- 知ることを学ぶ (Learning to know)
- 為すことを学ぶ (Learning to do)
- 共に生きることを学ぶ (Learning to live together)
- 人間として生きることを学ぶ (Learning to be)

『学習: 秘められた宝』(ユネスコ・21世紀教育国際委員会報告書、1996年)

+

- 自分自身と社会を変革することを学ぶ
(Learning to Transform Oneself and Society)

キー・コンピテンシー(key competencies) などの「新しい能力」概念

- 基本的な認知能力(読み書き計算、基礎的な知識・スキル、等)
- 高次の認知能力(問題解決、創造性、意思決定、学習の仕方に関する学習、等)
- 対人関係能力(コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、等)
- 人格特性・態度(自尊心、責任感、忍耐力、等)

教育の質

- 21世紀型学力観やKey competenciesに関わる議論をいかに踏まえるか→cognitive skillsとnon-cognitive skillsの両面を捉えるアプローチ
- 新しい「識字 (Literacies)」の考え方

21st Century Literacies:

Basic Literacy, Ethical Literacy, Citizenship,
Media Literacy, Information Literacy,
Intercultural Literacy, Network Literacy,
Literacies of various different fields and
issues (e.g., Water Literacy, etc.)

- Top 5 Global Risks in Next 10 Years By:

- *Perceived Likelihood:*

- 1 Severe income disparity
- 2 Chronic fiscal imbalances
- 3 Rising greenhouse gas emissions
- 4 Water supply crises
- 5 Mismanagement of population ageing

- *Perceived Impact*

- 1 Major systemic financial failure
- 2 Water supply crises
- 3 Chronic fiscal imbalances
- 4 Rising greenhouse gas emissions
- 5 Diffusion of Weapons of Mass Destruction

- Top Ten Risks by Combined Rankings of Likelihood and Impact Perceptions: (LR X IR)

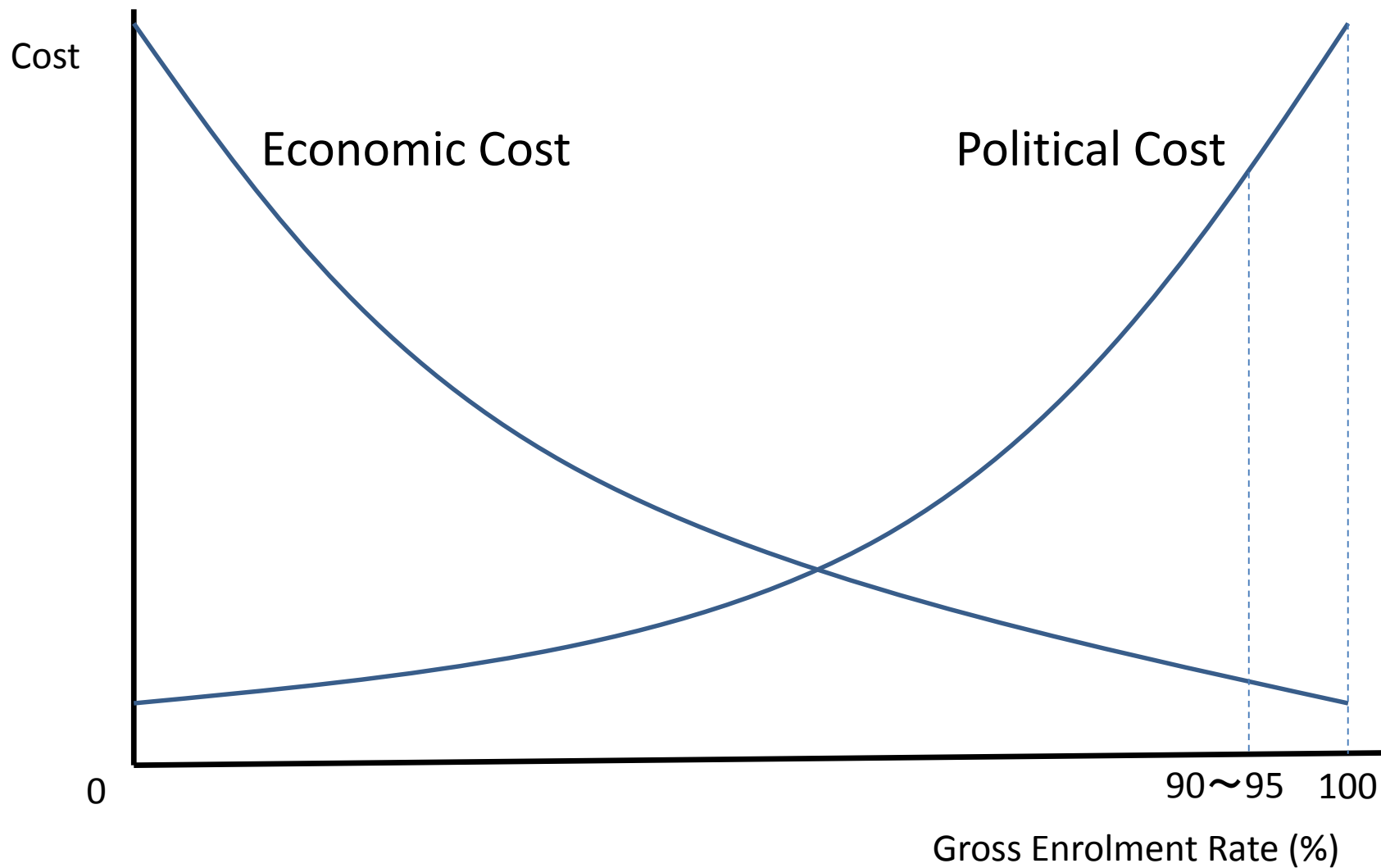
- 1 Chronic fiscal imbalances
- 2 Water supply crises
- 3 Severe income disparity
- 4 Rising greenhouse gas emissions
- 5 Failure of climate change adaptation
- 6 Mismanagement of population ageing
- 7 Extreme volatility in energy and agriculture prices
- 8 Cyber attacks
- 9 Global governance failure
- 10 Persistent extreme weather

Source: World Economic Forum *Global Risks 2013*

New “Literacies” are Needed to Address New Problems:

Economic
Environmental
Societal
Geopolitical
Technological

インクルーシブ教育—公正さ(equity)の問題—



「社会的正義 (social justice)」とは?



Trolley Problem

1967年に Philippa Foot によって考え出され、Judith Jarvis Thomson などがその後さらに検討を加えている。

Should you kill one person or four?
Should you kill your family member?
Should you kill the fat man?

<https://www.youtube.com/watch?v=w--ShKr3d9E>

Image by John Holbo,
from flickr
(ref. 2015/05/20)
<https://www.flickr.com/photos/jholbo/5021775761/>
CC BY-NC 2.0



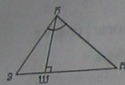






ធរណីមាត្រ (ត)

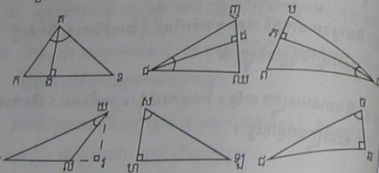
៥. កំពស់ និងមុំត្រីកោណ



អង្កត់កម្ព ចេញពីកំពូល ក ហើយកែងនឹង ជ្រុង ខក គ្រប់ចុងម្ខាងទៀតរបស់វា។
អង្កត់កម្ព ជាកំពស់នៃត្រីកោណ កខក។

មុំខកត កើតឡើងដោយជ្រុង កខ និងជ្រុង កត។
មុំខកត ជាមុំកំពូលនៃត្រីកោណ កខក។

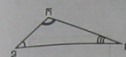
១. ប្រាប់កំពស់ចេញពីកំពូលមួយ និងមុំកំពូលនោះ :



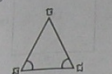
២. តើត្រីកោណមួយមានកំពស់ប៉ុន្មាន ? គួររូបហើយប្រាប់ឈ្មោះកំពស់ទាំង នោះ។

៣. តើត្រីកោណមួយមានមុំប៉ុន្មាន ? គួររូបហើយប្រាប់ឈ្មោះមុំទាំងនោះ។

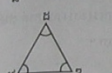
៥. ប្រភេទត្រីកោណ



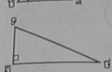
ត្រីកោណ កខក មានមុំទាំងពីរស្មើគ្នា។ ត្រីកោណ កខក ជាត្រីកោណសាមញ្ញ។



ត្រីកោណ ចតុជ មានមុំ ចតុជ និងមុំ ចតុជ ស្មើគ្នា។
ត្រីកោណ ចតុជ ជាត្រីកោណសមបាត។



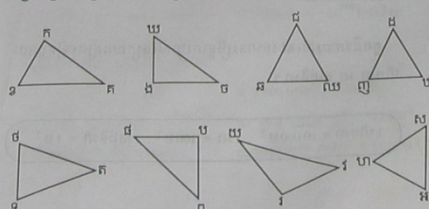
ត្រីកោណ ដបឧ មានមុំទាំងពីរស្មើគ្នា។ ត្រីកោណ ដបឧ ជាត្រីកោណសម័ង្ស។



ត្រីកោណ តតទ មានមុំ តតទ ជាមុំកែង។ ត្រីកោណ តតទ ជាត្រីកោណកែង។



ប្រាប់ប្រភេទត្រីកោណខាងក្រោម :



WONR



ក្រសួងអប់រំ យុវជន និងកីឡា

កម្មវិធីចូលរៀនឡើងវិញ

(Re-entry)



សំរាប់ជំនួយគ្រូបង្រៀន



រៀបចំដោយ

នាយកដ្ឋានគម្រោងបណ្តុះបណ្តាល
(កម្មវិធីសកម្មភាពជាតិកម្រិត ២០០៣)

2004

កម្មវិធីចូលរៀន
ឡើងវិញ

ជំងឺរាក



ជំងឺរាក

រាកជាជំងឺមួយដែលបណ្តាលមកពីការខ្វះ
អនាម័យក្នុងការហូបចុក និង រស់នៅ ។ វាអាច
បង្កអោយមានគ្រោះថ្នាក់ ជួនកាលរហូតដល់ស្លាប់
ដោយការខ្វះជាតិទឹកក្នុងខ្លួន ។

ពេលកើតជំងឺនេះ ត្រូវផ្តល់ជាតិទឹកអោយបាន
គ្រប់គ្រាន់ ដូចជាទឹកដោះម្តាយ ទឹកបបរ ទឹក
ដូងខ្លី ទឹកអូរ៉ាលីត ។ ដើម្បីការពារជំងឺរាក
យើងគួរតែគោរពតាមក្បួនអនាម័យហូបស្អាត ផឹក
ស្អាត រស់នៅស្អាត ។

សំណួរពិភាក្សា : ពេលកើតជំងឺរាក តើយើងត្រូវ
ធ្វើដូចម្តេច ? ព្រោះអ្វី ?

ពាក្យសិក្សា : ខ្វះ អនាម័យ រាក

3. Sustainableな世界＝「平和」

－ユネスコのアプローチ－

ユネスコの源流

- 1922年に国際連盟 (League of Nations) の下に設立された国際知的協力委員会 (ICIC: International Committee on Intellectual Cooperation) を源流とする。同委員会には、アインシュタイン (ドイツ・物理学者)、キュリー夫人 (フランス・物理学者) 等、著名な有識者12人が出席。当時、国際連盟の事務局次長であった新渡戸稲造が事務を担当。
- 1926年に、フランス政府の財政的支援により国際知的協力機関 (IIIC: International Institute of Intellectual Cooperation) がパリに設立され、ICICが立案する事業の実施機関として、大学、図書館、知的財産、芸術、情報、メディア等の分野で活動。(第二次大戦の開始による中断)
- 1946年11月4日、国際連合の専門機関として誕生し、同年11月19日に第1回総会がパリで開催



* ©UNESCO



* ©UNESCO



* ©UNESCO

平和を希求する教育

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」

[ユネスコ憲章・前文(1945)]

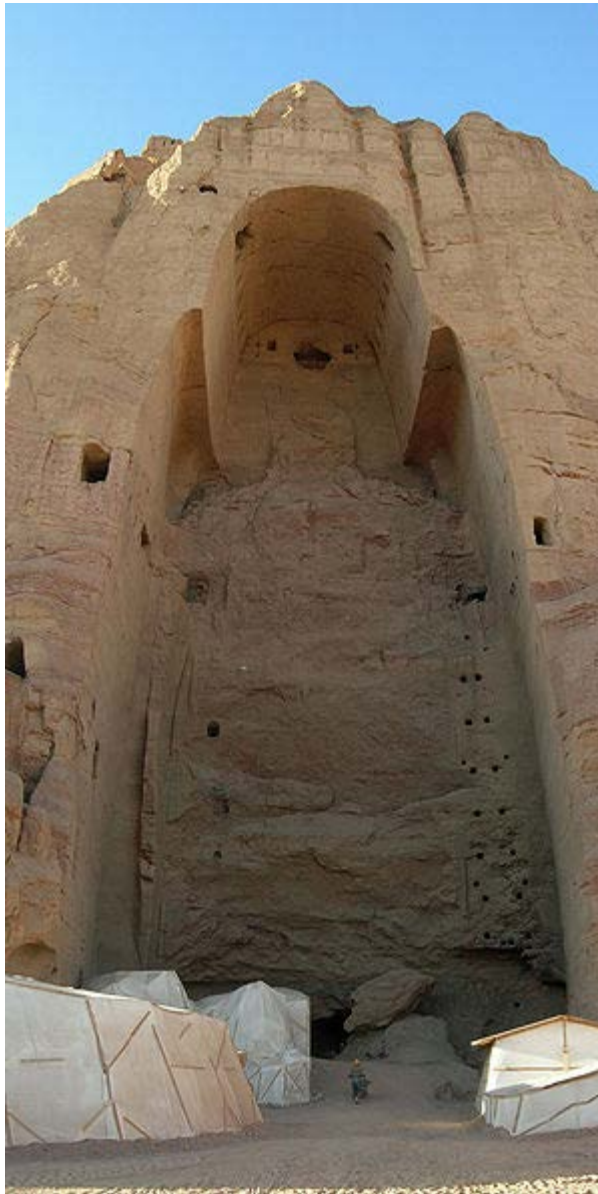
国連教育科学文化機関

(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization)

UNESCO ⇒ UNESCO

事業領域：

教育、文化、自然科学、人文・社会科学、コミュニケーション



*

Image by Carl Montgomery, from Wikimedia Commons(2015/5/19)
http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Buddhas_of_Bamiyan4.jpg
CC BY 2.0

© UNESCO
<http://www.unesco.org/bpi/eng/unescopress/2001/taliban-crisis.shtml>

著作権の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しました。

2001年3月12日
バーミヤン遺跡の石仏
破壊時の写真



Image by Tracy Hunter, from Wikimedia Commons(2015/5/19)
http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Destroyed_Statue,_July_17,_2005_at_15-53.jpg

CC BY 2.0

結び

- 限られた資源をどのように配分するのか
＝「公正さ(equity)」のあり方
 - － 持続可能な社会のあり方を自立的に考える力を育むESD
 - － 先進国や途上国で異なる多様な社会のあり方のなかで、それぞれの文脈における教育のあり方を模索
 - － 平和を希求するユネスコの役割